

北関東 防衛局 広報

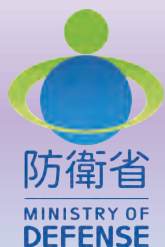
2023.12
Vol.
117

目次 — CONTENTS —

- 2 令和5年版防衛白書の刊行
- 3 第52回防衛問題セミナーを開催
- 4 第4回木更津駐屯地に関する協議会開催
- 5 令和5年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式開催
- 6 令和5年度防衛大臣感謝状贈呈（福生市長）
防衛施設周辺環境整備事業
- 7 わが町紹介（～東京都福生市～）
- 8 施設整備工事に関する意見交換会を開催
施設整備調査チーム（エルフォース）訓練
- 9 事務所だより（～千葉防衛事務所～）
- 10 北関東防衛局からのお知らせ・お願い
 - ・レーザー光線の航空機への照射は犯罪です
 - ・ドローンの規制についてのお知らせ
 - ・横田飛行場周辺の高さ制限
 - ・在日米軍従業員募集



千葉市立郷土博物館 雪景色（写真提供：千葉市）



編集・企画発行：北関東防衛局総務部広報室 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>

管轄区域：東京都・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・新潟県・長野県



令和5年版 防衛白書の刊行

防衛白書は、わが国の防衛の現状と課題及びその取組について広く内外に周知を図り、その理解を得ることを目的として毎年刊行されています。

令和5年版防衛白書は、3文書策定後、初めて刊行される白書であり、我が国を取り巻く安全保障環境の変化や防衛省・自衛隊の活動などを踏まえ、次の6点を重点的又は新たに記述しています。

- ① ロシアによる侵略の継続に対するウクライナによる防衛
- ② 中国、北朝鮮、ロシアの軍事動向、米中競争と台湾をめぐる情勢
- ③ 3文書策定の経緯及び概要
- ④ 防衛力抜本的強化「元年」予算
- ⑤ 情報戦への対応や継戦能力を確保するための持続性・強靱性強化の取組を含むわが国の防衛力の抜本的強化
- ⑥ 防衛生産・技術基盤及び人的基盤の強化に向けた取組



また、厳しさを増す安全保障環境の中で、我が国の強固な防衛意思と堅固な防衛態勢をしっかりと発信すべく、3文書を踏まえた、わが国自身の防衛体制の強化に向けた取組について、内容を強化しています。



表紙については、防衛省・自衛隊が「真に国民を守り抜ける体制を作り上げる」との決意を表現する観点から検討しました。

その結果、国民の命と暮らしを守り抜く防衛力の中核である自衛隊員が、題字をしたためました。

しなやかで勢いと力強さのある筆の運びにより、全自衛隊員を代表し、防衛省・自衛隊の「新たな決意」を表現しています。

防衛白書の地方公共団体等への説明

北関東防衛局では、防衛省の各種施策について、地方公共団体等の理解を深めるとともに、防衛省・自衛隊と地方公共団体等との連携強化を図るため、当局管内1都7県414の地方公共団体等に対し、自衛隊地方協力本部や関係部隊等と連携して、防衛白書の説明を毎年実施しています。

【栃木県への説明】



福田知事（左側）、二又局長（右側）

【埼玉県への説明】



二又局長（左側）、大野知事（右側）

【千葉県への説明】



熊谷知事（左側奥）、二又局長（右側手前）

第52回 防衛問題セミナーを開催



令和5年11月15日（水）、小美玉市小川文化センター「アピオス」（茨城県小美玉市）において、第52回防衛問題セミナーを開催しました。

このセミナーは、「新！安全保障戦略始動！～迫る脅威に対する同盟・同志国による連携強化～」をテーマとして、令和4年12月に閣議決定された新たな国家安全保障戦略・国家防衛戦略・防衛力整備計画の内容について、また、国家防衛戦略に記された3つの防衛目標の1つである同盟・同志国との協力・連携強化に向けた航空自衛隊百里基地における取り組みについて、地方公共団体や地域住民の方々などに理解を深めていただくことを目的として開催しました。

当日は、最初に主催者を代表して二又北関東防衛局長が挨拶を行った後、第1部で防衛省大臣官房企画官（防衛政策局防衛政策課）の佐藤勝久氏から「新たな国家安全保障戦略・国家防衛戦略・防衛力整備計画」について、第2部では第7航空団司令兼ねて百里基地司令の松浦知寛空将補から「我が国の領空を守る新たな航空宇宙自衛隊～



同盟・同志国との協力・連携強化～」と題して講演いただきました。

参加者からは、「3文書の内容が詳細に説明されとても分かりやすく、よく理解することができた。」、「我が国のおかれている現状、今後の取り組む方向が分かった。」、「国際協力、他国間との共同訓練等の重要性について理解できた。」、「領空に対しての防衛力の重要性、今後の宇宙領域の防衛に関し理解できた。」など、多くのご感想・ご意見を頂戴することができ好評なセミナーとなりました。

二又局長の主催者挨拶



佐藤勝久企画官のご講演



松浦知寛司令のご講演



第4回 木更津駐屯地に関する協議会 開催

令和5年11月21日（火）、木更津市役所において、第4回木更津駐屯地に関する協議会が開催されました。本協議会は、陸上自衛隊V-22オスプレイの暫定配備に当たり、木更津市の要望を受け、令和2年に設置されたもので、木更津市長、木更津市議会議長、基地政策特別委員会委員長、北関東防衛局長、木更津駐屯地司令、市企画部長が一堂に会し、木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関することについて、地域の皆様からいただいたご意見等を踏まえた質疑応答等が行われました。



左側手前から、廣瀬司令、二又局長、渡辺市長、鶴岡議長、斉藤委員長、石井企画部長

二又局長からは、市側からの質問に対して国の考えを丁寧に回答するとともに、木更津駐屯地でのV-22の配備状況に関する報告のほか、木更津市に対して行っている基地周辺対策事業を紹介し、引き続き、基地の運用から生じる障害の防止・軽減に最大限努力していく旨の説明を行いました。

また、廣瀬司令からは、V-22を配備後、水陸機動団との協同訓練や米軍との共同訓練等を通じ、あらゆる事態に対応できる隙のない防衛能勢の構築に寄与できているとの報告とともに、引き続き、地域の皆様へ最大限の配慮を行いつつ、航空機の安全な運用に努めていくとの説明がありました。

北関東防衛局としては、協議会の場などを通じ、地域の皆様の様々な声を真摯に受け止め、引き続き、駐屯地周辺との調和が図られるよう、各種施策にしっかりと取り組んでまいります。



令和2年7月に到着した1機目のV-22



木更津駐屯地

令和5年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰式 開催

令和5年10月17日（火）、爽やかな秋晴れのもと、東京都羽村市「プリモホールゆとろぎ（羽村市生涯学習センター）」において、令和5年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式を挙行了しました。

今年度は、40年勤続者11名、30年勤続者69名、20年勤続者50名、10年勤続者53名の合計183名の皆様が表彰されたところです。

この表彰式は、北関東防衛局管内にある横田飛行場、ニューサンノー米軍センター、赤坂プレス・センターなどの在日米軍施設で、永きにわたり勤務された従業員の方々の功労を称えるため、日米の共催で実施しているものです。

表彰式では、被表彰者の中から各軍を代表し、40年表彰の糟谷一幸さん、本多淳夫さん、高橋敦子さん、30年表彰の真鍋美紀子さんに対し、二又北関東防衛局長から表彰状が授与され、第5空軍サイバー作戦運用部部長岡本大佐、在日米陸軍司令部副司令官ブッチャー大佐、民間人人事局海外プログラムセンター人事部長ノーブル氏、AAFE S横田エクステンジジェネラルマネージャー デフェリス氏から、それぞれ記念品が授与されました。

また、来賓を代表して東京都都市整備局基地対策部松木基地対策担当課長から祝辞を頂戴いたしました。

最後に、被表彰者を代表して国防総省教育局所属の須永進さんから「長年にわたって培った知識や経験を生かし、これからも在日米軍施設の円滑な運営のため、従来にも増して職務の遂行に励み、日米両国の懸け橋としての役割を果たしてまいります。」と答辞が述べられ、厳粛な雰囲気にも包まれながら表彰式は幕を閉じました。



令和5年度 防衛大臣感謝状贈呈（福生市長）

令和5年11月17日（金）、二又北関東防衛局長は、加藤育男福生市長に対し、木原稔防衛大臣からの大臣感謝状を贈呈しました。

加藤氏は、平成20年5月21日に福生市長に就任され、今日まで約15年間にわたり、横田飛行場の運用が円滑かつ安定的に行えるよう国の防衛行政の遂行に協力されてきました。

横田飛行場は在日米軍、第5空軍、第374空輸航空団の司令部が置かれているほか、西太平洋地域での任務を担う多数の部隊が所在しており、福生市の行政面積の約3分の1を横田基地が占めています。

加藤氏は、横田飛行場を抱える自治体の首長として、我が国の国防の基軸となる日米同盟の重要性を深く認識され、防衛行政に深い理解を示し、住民の皆様の理解の増進に努められました。

防衛施設と地域住民との融和に努められ、防衛施設の安定的使用に多大な貢献をされたことから、これまでのご功勞に対し、感謝の意を表したものです。



二又局長（左側）、加藤市長（右側）

防衛施設周辺の環境整備事業

木更津市営江川総合運動場サッカー場オープニングイベントが開催されました

令和5年8月20日（日）に千葉県木更津市主催の「木更津市営江川総合運動場サッカー場オープニングイベント」が開催され、渡辺木更津市長を始めとした関係者のほか、当局からは二又北関東防衛局長らが出席し、地元木更津の皆様と共に祝いました。

当日は、エスコートキッズによるファーストシュートセレモニーなどが行われ、盛大なイベントとなりました。

このサッカー場は、平常時に多くの小中学生やスポーツ団体により利用され、大規模災害等が発生した場合は一時避難場所としての利用を目的として、防衛省の補助金（約2億14百万円）を活用し整備を行い、競技用具の購入には、特定防衛施設周辺整備調整交付金（約17百万円）が活用されています。

当局といたしましては、今後とも防衛施設周辺にお住いの皆様方の生活の安定と福祉の向上に寄与するための各種施策の実施に取り組んでまいります。



事案名：屋外運動場
総事業費：約3億21百万円
補助額：約2億14百万円
面積：約1.2ha
施設：サッカー協会認定規格種別C
115m×78m（ピッチ：105m×68m）
人工芝舗装、本部棟（審判室、用具置場）等



テープカット：左側から2番目が二又局長、3番目が渡辺市長



来賓者からパスを受けたキッズがシュート

『人を育み 夢を育む 未来につながるまち ふっさ』

福生市は、都心から西へ約40キロ、武蔵野台地の西端に位置する、人口約5.7万人の都市です。東西3.6キロ、南北約4.5キロ、面積は10.16平方キロメートルの小さな市です。小さな市の中にJRの駅が5つ（拝島、牛浜、福生、東福生、熊川）あり、利便性がとても良いまちです。

市の東側は、横田基地や国道16号周辺のアメリカーナなまち並みが大変人気です。一方、西側は都内では珍しく2つの酒蔵があり、昔ながらの情緒がある「和」のテイストが楽しめるので、和洋が同時に楽しめるまちです。



福生アメリカンハウス



市内に所在する2つの酒蔵

福生七夕まつり

昭和26年に商店街の振興を目的に始められた福生七夕まつりは、福生の夏を代表する恒例行事です。福生駅前を中心に豪華な竹飾りが商店街を彩り、七夕織姫コンテストや多国籍なグルメが楽しめる市民模擬店など、さまざまなイベントが行われます。

4年振りの開催となった令和5年7月には、例年の4日間開催を2日間に短縮して開催したにも関わらず、来場者数は過去最高の約52.7万人となり、大いに賑わいました。



防衛施設周辺対策事業（防災食育センター）

福生市では、東日本大震災を契機に、市民の防災意識の高まりを受け、防災食育センターの整備に取り組み、平成29年9月から本格稼働いたしました。

防災食育センターは、平常時には、市内小中学校に学校給食を提供する一方、災害時には帰宅困難者などの一時滞在者や避難生活者を受け入れる避難所として機能するほか、想定避難生活者1万5千人に1日1回、おにぎり2個と汁物を応急給食として提供することが可能です。さらに避難所開設用の備品を備蓄し、支援物資や応援部隊を受け入れる災害対策の拠点としても機能する施設です。



文・写真ともに福生市に寄稿いただきました。

施設整備工事に関する意見交換会を開催

令和5年9月14日（木）、さいたま新都心合同庁舎1号館2F講堂（埼玉県さいたま市）において、自衛隊の施設を建設または改修する施設整備工事に関する意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、北関東防衛局及び部隊等の関係者が一堂に会し、局からの施設整備工事に関する情報提供や部隊等からの意見を聞くなどして、相互の連携強化を図り、今後の業務を円滑に遂行するための資とすることを目的としており、当局含め51機関、約140名の方々が来場されました。

当日は、主催者の代表として杉山調達部長が開会の挨拶を行った後、2部構成で意見交換会を実施しました。

第1部では、白石調達計画課長など各担当課長から、当局の施設整備の執行等に係る情報提供を行い、第2部では、施設整備全般に関する事項について、当局と各部隊等の参加者との活発な意見交換を行い、最後に太田防衛補佐官から全体を通しての所見を頂き、今後の施設整備工事を実施する上で、今後の課題を明確にするなど有意義な意見交換会を実施することができました。



杉山調達部長



太田防衛補佐官

施設整備調査チーム（エルフォース）訓練

令和5年9月26日（火）、北関東防衛局調達部の職員で構成される施設整備調査チームの訓練を実施しました。このチームは地震、大雨その他の災害等により被災した自衛隊施設について技術支援等を迅速かつ明確に実施し、自衛隊施設の早期復旧を図るために設置しているものです。

この訓練は、発災から派遣準備、被災駐屯地への派遣、施設の被災状況の確認など施設整備調査チームの一連の行動について訓練を実施することで、各種対処能力の維持・向上を図ることを目的としており、今回は、地震による被害が自衛隊施設に発生したという想定で行いました。

陸上自衛隊東部方面総監部から当局への技術支援の要請に基づき、三宿及び用賀駐屯地へ同チームを派遣し、被災建物や設備などの確認及び応急危険度判定を行い、被災部隊等へその判定結果の説明や今後の補修方法を提案するなどの訓練を実施しました。この訓練により、対処能力の向上を図ることができました。



汚水管の損傷状況確認



応急危険度判定の実施



部隊とのブリーフィング

千葉県誕生150周年と千葉開府900年

千葉県は海も山もある豊かな自然と、恵まれた食、数多くの観光地、摩天楼そびえる都市群が調和する地域です。今年はその誕生から150周年の節目の年を迎えました。そして令和8年（2026）に千葉市では千葉開府900年を迎えます。

千葉県誕生150周年

千葉県の誕生は明治6年（1873）に遡ります。明治初期まで、現在の千葉県にあたる地域には、下総・上総・安房の3国がありましたが、明治4年の廃藩置県、また県の統廃合により印旛・木更津・新治（にいはい）の3県が成立し、明治6年6月15日に印旛・木更津の両県が合併して千葉県が誕生しました。その後、一部地域の分離、編入を経て、明治8年に今の千葉県とほぼ同じ形になりました。

県の形をモチーフに作られた「チーバくん」は、平成23年に千葉県の公式マスコットキャラクターとなり、とても高い人気を集めています。また、県内では「県誕生150周年」を記念した様々なイベントが各地で開催されています。



明治8年の千葉県



チーバくん

（画像提供：千葉県）

千葉開府900年と千葉氏

平安時代後期の大治元年（1126）6月1日、桓武平氏の一族である千葉常重は、現在の千葉市中央区亥鼻（いのはな）付近に本拠を移しました。これにより千葉のまちの繁栄が始まったといわれており、千葉市では6月1日を「千葉開府の日」、令和8年（2026）を「千葉開府900年」として位置付けています。ここでは、市内に残る千葉氏ゆかりの場所をいくつかご紹介します。

1 猪鼻城（いのはなじょう）跡と騎馬武者像「飛躍（ひやく）」

土塁、堀切が現存する猪鼻城跡は、市の文化財（史跡）に指定されており、城跡に立つ千葉市立郷土博物館の前には、一族中興の祖と言われる千葉常胤（つねたね：常重の子）をイメージした騎馬武者像「飛躍」が凛々しい姿を見せています。常胤は、石橋山の戦いに敗れ、房総半島に逃げ延びた源頼朝にいち早く味方した人物で、その後、一貫して頼朝を支えるなど鎌倉幕府開府に大きな役割を果たしました。



千葉市立郷土博物館
（写真提供：千葉市）



千葉寺（写真提供：千葉市観光協会）

2 千葉寺（せんようじ）のイチョウ

千葉寺は、和銅2年（709）に創建された市内最古の寺院です。一度は焼失したものの、常胤が再建したもので、境内にあるイチョウは鎌倉鶴岡八幡宮のイチョウよりも大きく、県指定の天然記念物として葉が色づく季節には多くの市民で賑います。

3 千葉神社

千葉氏の祖先である平忠常が建立したといわれ、この場所には頼朝も参拝して平家打倒を祈願したと伝わっています。写真は新春行事「はしご乗り」の勇姿です。

千葉市では、千葉のまちの礎を築いた千葉氏を知っていただけるような様々な取り組みを行っており、また特設サイト（<https://www.city.chiba.jp/identity/index.html>）を開設して動画なども公開しています。ご興味のある方は、千葉のまちを訪れ、900年の歴史に思いを馳せてはいかがでしょうか。



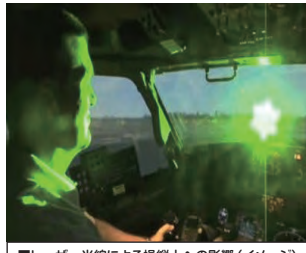
千葉神社（写真提供：千葉神社）

北関東防衛局からのお知らせ・お願い

レーザー光線の航空機への照射は 犯罪(注)です。

東京都内、神奈川県内、沖縄県内等で飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射するという事案が多発しています。

墜落等による大惨事をもたらしかねない大変危険で悪質な犯罪ですので**決して行わないで下さい。**



■レーザー光線による操縦士への影響(イメージ)

照射している人を見かけた方は**110番通報**をお願いいたします。

(注) 平成28年12月、改正航空法施行規則が施行され、規制が強化(レーザー光線を航空機に向かって照射する行為自体に罰則(50万円以下の罰金))。

刑法の威力業務妨害罪(3年以下の懲役又は50万円以下の罰金)航空危険行為処罰法の航空危険罪(3年以上の有期懲役)等に該当する場合あり。

平成27年12月及び平成28年1月に威力業務妨害罪で逮捕例あり。

防衛省、外務省、警察庁、国土交通省

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記に御連絡願います。

北関東防衛局 企画部地方調整課連絡調整室 (東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県を管轄) 防衛省本省 地方協力局在日米軍協力課	(代表)048-600-1800 (内線:2226) (直通)03-5362-4851
--	---

ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている**自衛隊施設/米軍施設その周辺地域**(周囲約300m)の上空における**ドローン等の飛行は、原則として禁止されています。**

これに違反した場合、次のような措置/罰則もあります。

- 警察官等による安全確保措置
- 最大懲役1年/罰金50万円

周囲おおむね300mの地域の上空(イエロー・ゾーン)

自衛隊施設/米軍施設の敷地・区域の上空(レッド・ゾーン)



※このほか、**航空法上の無人航空機の飛行禁止空域**においてドローン等を飛行させる場合、夜間にドローン等を飛行させる場合等には、別途、**国土交通大臣の許可又は承認を得る必要があります。**

対象防衛関係施設及び飛行をさせたい場合の手続の詳細については、**防衛省HP**をご参照ください。
<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>



防衛省・警察庁・外務省・国土交通省

お問い合わせ先 防衛省 北関東防衛局 企画部地方調整課連絡調整室
【代表】048-600-1800 (内線:2226)

横田飛行場高さ制限について

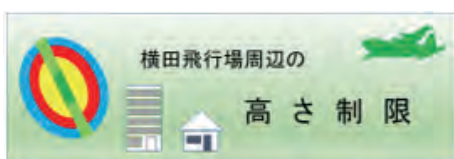
飛行場には航空機の安全な運航を確保するため、航空機の離着陸の経路に当たる一定の空域に飛行場の規模に応じて建物等の高さ制限が設けられています。

横田基地ホームページ(<https://www.yokota.af.mil/>)では、横田飛行場周辺の建物等の高さの制限を地図で確認できるサービスを提供しています。

利用方法

北関東防衛局ホームページ(<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>)

トップページ右側のバナーをクリックすると利用方法が参照できますのでご利用ください。



高さ制限HP



在日米軍従業員募集

独立行政法人駐留軍等労働者
労務管理機構【エルモ】では、
在日米軍基地で勤務する従業員
の募集を行っています。

興味のある方は、エルモホームページをご覧ください、
下記の支部にお問い合わせください。

※求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますのでご利用下さい。



【X(旧Twitter)】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報(エルモ) @LMO_recruit」

X(旧Twitter)



【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ横田支部管理課管理二係

住所:東京都昭島市田中町568-1 昭島昭利第2ビル4階

電話:042-542-7663

担当施設:横田飛行場、ニューサンノール米軍センター、赤坂プレス・センター他

<https://www.lmo.go.jp>

L M O 検索

エルモ
ホームページ



求人情報
本州・九州の
基地



★「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。

<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/kouhou/kouhou.html>

北関東防衛局広報 検索

広報誌
バックナンバー

